



2022年11月11日

各位

会社名 昭和電線ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 隆代
(コード番号 5805 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 経営戦略企画部長 小又 哲夫
(TEL. 044-223-0520)

筆頭株主による当社株式の一部売却に関するお知らせ

今般、当社の筆頭株主である富通集団（香港）有限公司が、実質的に保有する当社株式の一部を売却したことを、本日付けで提出された大量保有報告書（変更保有報告書）により確認しましたので、以下のとおりお知らせいたします。これにより、富通集団（香港）有限公司は当社の筆頭株主から外れることとなりました。

記

1. 当該株主の概要

富通集団（香港）有限公司の株主名簿上の名義は、NIHK WMD CLIENT OMNIBUS 10 PER TAX（常任代理人 野村證券株式会社）となっております。また、富通集団（香港）有限公司の100%親会社は富通集団有限公司であり、同社は、富通集団（香港）有限公司およびその100%子会社である株式会社FTを通じて、当社株式を間接的に保有しています。

(1) 富通集団（香港）有限公司の概要

- ① 所在地 香港北角英皇道510号港運大厦7階7A室
- ② 代表者 会社代表 楊 眉
- ③ 資本金 39万香港ドル
- ④ 事業内容 事業投資、貨物の輸出入

(2) 富通集団有限公司の概要

- ① 所在地 中国浙江省杭州市富陽区富春街道館驛路18号
- ② 代表者 董事長 王 建沂
- ③ 資本金 2,248百万人民币元
- ④ 事業内容 光ファイバ用プリフォーム・ロッド、光ファイバ、光通信ケーブル、通信ケーブル、電子ワイヤ、LANケーブル、光デバイスおよびその他通信関連製品の製造販売、金属製品、関連製品の開発および技術サポート、その他

2. 売却後における富通集団（香港）有限公司の所有する議決権の数および総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権の数 に対する割合（注1）	大株主順位 (注2)
異動前 (2022年9月30日現在)	15,000個 (1,500,000株)	5.02%	1位
異動後 (2022年11月8日現在)	1,000個 (100,000株)	0.33%	—

注1. 総株主の議決権の数に対する割合は、2022年9月30日現在の総株主の議決権の数（298,422個）を基準として算出（小数点第三位以下を切り捨て）しております。

2. 大株主順位は、当社が把握している実質保有株主の順位となります。

なお、上記の売却に伴い、富通集团有限公司の議決権の数についても、以下のとおり変動が生じております。

	議決権の数（総株主の議決権の数に対する割合）		
	直接所有分	合算対象分（注）	合計
異動前 (2022年9月30日現在)	—	18,100 個 (6.06%)	18,100 個 (6.06%)
異動後 (2022年11月8日現在)	—	4,100 個 (1.37%)	4,100 個 (1.37%)

注. 合算対象分には、富通集团有限公司の100%子会社である富通集团（香港）有限公司および同社の100%子会社である株式会社F Tが所有する議決権の数を合算しております。

3. 今回売却の背景と今後の関係について

当社は、2011年5月13日付で、富通集团有限公司との間で業務提携に関する契約を、富通集团（香港）有限公司との間で第三者割当増資による新株式の引受に関する契約を、それぞれ締結いたしました。これらの契約の締結は、当社グループの中国事業の展開に合わせて、富通集团有限公司グループとの協力関係を資本および事業の両面で強化していくことを目的とするものでした。

その後、両社グループを取り巻く経営環境が大きく変化する中で、当該資本業務提携関係について改めて検討および協議を行ってまいりました。結果として、業務提携を確固たるものとするために締結した資本提携については当初の目的を達成しており、富通集团有限公司が間接的に保有する当社株式を減少させていく方針を双方の共通する認識として確認いたしました。これに基づき、富通集团有限公司は、当社株式を段階的に売却し、今回の売却によって筆頭株主からも外れ、実質的に資本提携については解消することとなりました。

なお、両社グループ間の業務提携については引き続き継続してまいります。現在、富通集团有限公司グループとの間で進めている無酸素銅等の銅製品に関する合弁事業は安定した収益を確保しており、今後も成長が見込まれる中国国内のxEVや再生エネルギー等のインフラに向けた製品を中心に、さらなる収益の拡大を目指してまいります。

以上